

すかがわ会議所ニュース



謹んで新年の
お慶びを申し上げます

虎の大打進

ホテル虎屋さんのフロント奥のショーケースには各地から集めた虎の置物がたくさん飾られています。皆様に今年多くの幸せなことが訪れますように。

インフォメーション

1月	7日(金)	年末調整個別指導会～14日(金)(商工会館)
	11日(火)	青年部 第10回役員会(商工会館) 青年部OB回役員会(黒毛和牛 縁) 須賀川まちづくり推進協議会正副委員長会議(商工会館)
	12日(水)	日本政策金融公庫金融相談会(商工会館)
	13日(木)	須賀川珠算連盟打合せ会(商工会館)
	15日(土)	LINE版スカガワモンスタースタンプラリー抽選会(ウルトラFM)
	17日(月)	第32回田善顕彰版画展 一次審査(商工会館) 須賀川地区税務関係団体協議会臨時会(商工会館)
	18日(火)	会員交流会第3回実行委員会(商工会館) 女性会「新春会員懇談会」(ホテルサンルート須賀川)
	20日(木)	第592回常議員会(商工会館)
	24日(月)	第32回田善顕彰版画展 二次審査(商工会館)
	27日(木)	青年部 令和3年度新春懇談会(ホテルサンルート須賀川) 高校卒業予定者を対象とした地元企業説明会 第3回運営委員会(商工会館)

2月	28日(金)	雛の笑顔に会えるまち実行委員会(商工会館)
	2日(水)	SDGsに関する連携協定締結式(須賀川市)
	6日(日)	第32回田善顕彰版画展 表彰式(tette)

～すかがわ商店街～第18回雛(ひ・な)の笑顔に会えるまち

展示店大募集!



「雛の笑顔に会えるまち」事業を、中心市街地の各商店会や商店街振興組合、須賀川商工会議所・女性会等合同で実施いたします。つきましては、より多くのお店に雛展示のご参加をいただき、すかがわ商店街を盛り上げていきたいと考えておりますので、ぜひ皆様のご協力をいただきますようお願い申し上げます。抽選で商品券があたるスタンプラリーも実施します。

展示期間：2月18日(金)～3月3日(木)
展示内容：各店の所有する雛飾りを展示していただきます。
申込締切：1月7日(金)

お申し込み、お問い合わせ先 地域振興課 ☎76-2124





新年のごあいさつ



須賀川商工会議所会頭 渡邊 達雄

あけましておめでとございます。
令和四年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の新規感染者数も落ち着きをみせ、感染対策を図りながらイベント開催や飲食等の規制緩和が国・県においてなされました。

しかしながら、変異株の発生などにより世界的には多くの国で感染者数が増大しており、我が国においても第六波が懸念されており、まだまだ予断の許さない状況であります。

そのため、市内の飲食業、観光業・交通関係をはじめとしたサービス業、小売業など様々な業種において、その利用はコロナ前に比べまだまだ戻っていない状況であります。少しでもご利用いただけるよう関係団体と連携し対応しているところであります。

今、当所といたしましても、感染対策に

留意しながらどのような市内で経済活動を循環させ地域経済の活性化を図るかが一番の課題であると考えております。

現在、地方経済もグローバル化の中で、大きな変革の時を迎えております。それを痛切に感じるきっかけとなったのがこのコロナ禍であり、我が国のデジタル化の遅れという課題が浮き彫りになりました。

当所といたしましても、会員事業所におけるデジタル化とDX(デジタルトランスフォーメーション)の推進は避けて通れない課題であることから、今年度はデジタル化・DX元年と捉え、関連事業を立ち上げ積極的に展開する所存であります。

また、経営の厳しい小規模事業者に寄り添いながら、伴走型支援事業を中心にきめ細かな支援を行い事業所の経営力アップに努めます。

中心市街地の活性化につきましては、商店街及びまちづくり関係者と連携を図り、市民交流センター(tette)、すかがわ観光物産館(flatto)、風流のはじめ館などを活用しながら、街のにぎわい創出と商店街の活性化につなげて参りたいと考えております。

当地方の貴重なインフラであります福島空港につきましては、コロナ禍によりまだまだ厳しい航空需要が続いておりますが、県や関係者と連携しながら、利活用促進と新規路線拡大に取り組みます。

さらには、会員事業所の持続的発展を図るため、会員事業所の事業承継や事業継続力強化計画策定にも力を入れるとともに、創業支援、地元人材の雇用の確保、地域資源の磨き上げによるツーリズム事業などを実施し、魅力あふれるまちづくりを目指します。

結びに、今年が皆様にとって夢と希望に満ちた一年となりますようご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。





新たなステージ

「次の10年」へ



須賀川市長 橋本克也

明けましておめでとうございます。
市民の皆様におかれましては、輝かしい
新年を迎えられたことと心よりお慶び申し
上げます。

東日本大震災から10年が経過し、多くの
方からの支援や市民の皆様のご理解とご協
力により、創造的復興を目指した様々な事
業が目に見える形で進んでまいりましたが、
昨年は、コロナ禍と自然災害により足止め
を余儀なくされました。

新型コロナウイルス感染症は、変異ウイ
ルスが猛威を振るい、感染拡大の第4波、
第5波では、これまでに経験したことのない
スピードで感染が拡大しましたが、現在
も、私たちの生活や経済活動に深刻な影響
を与えております。

また、昨年2月には福島県沖を震源とす
る地震が発生し、本市でも住家や公共施設
などが大きな被害を受けたほか、4月の凍

霜害、6月の降ひょう被害、7月の猛烈
な大雨による記録的短時間大雨情報の発
令など、度重なる自然災害により本市の
産業を中心に多大な影響を受けました。

本市では、引き続き、コロナ禍と自然
災害から、市民生活と地域経済を守るた
めに、各種施策に全力で取り組んで参
ります。

さて、今年、須賀川市民交流センター
tetteがオープンしてから、まもなく
3年を迎えますが、この度、「第37回福島
県建築文化賞」正賞の受賞が決定いたし
ました。これは、地域の周辺環境に調和
した優れた建築物を表彰するものです。
tetteは、これまでも様々な分野で
表彰いただいておりますが、いずれも震
災からの創造的復興を目指し、市民と一
体となった取り組みが評価されたものと
考えており、今後とも、市民の皆様

しまれる施設を目指して参ります。

また、本市には、「特撮文化」や「俳句文化」、
次の世代へと受け継がれる「円谷幸吉選手
のレガシー」など、本市ならではの、誇る
べき文化や財産がありますので、これまで
以上に、あらゆる人に「選ばれるまち」と
なることを目指し、「ふるさと須賀川」への
愛着や誇り、「シビックプライド」の醸成に
つなげるよう、シティブロモーションにも
鋭意取り組みで参ります。

さらには、「第8次総合計画」や「第2期
市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を基に、
コロナ禍に対応した「新しい日常」を定着さ
せながら、時代の潮流に合わせたSDGs
や公民連携をはじめ、防災・減災対策など
の各種施策に取り組み、創造的復興からの
「次の10年」という新たなステージへ歩みを
進めて参りますので、引き続き、市政に対
するご理解とご支援を賜りますようお願い
申し上げます。

結びに、今年一年の皆様のご健勝とご多
幸をお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたし
ます。



(株)ホテル虎屋

代表取締役

萩原輝一氏

当所議員

座右の銘は何でしょうか

不易流行です。

時代の流れでも変えてはいけないところは変えずに、変えなければならぬところは変えていく。

虎屋も1976年に従来の「割烹旅館」から「ホテル虎屋」に改名し、建物も新しくしました。

それが当時の時代の流れに合わせた変化です。ですが業務の内容は変えても「お客様を一番考える」といった

理念や手法は変えていません。

現状維持にとどまらない、現在上手くいっていても、その状況に満足してしまっていればお客様はついてきてくれなくなってしまう。だから不易流行、それが座右の銘です。

商売をする上での大切なことは何ですか

商売はお客様のためにあるんです、虎屋があるからお客様が来るわけではなく、お客様がいるから虎屋があるんですよ。

自分の夢を満足させるのではなく、お客様の夢を満足させるために商売はあるんです。

誠実さを大切にしてお客様を裏切らない、それを1年、10年と続けていくことで、お客様との信頼関係を繋げていく。言葉と心でコミュニケーションをと

ていくことですね。

昔は暖簾にお客さんがついてくる時代だった。今はそういった時代ではない。お客様が「私たちのことを大切にしてくれているな」と思ってくれるようにサービスをする、その地道な積み重ねが大切じゃないかな。

商売をしていて楽しいと思う瞬間は何ですか

お客様が喜んでる姿を見ることが多いですね。お客様が喜んでる姿を見て間接的に喜びを感じる。商売人はそれが全てじゃないかな。

これから何かやりたいことはありますか

思うのは私はもう体験すること、やることは全てやってきました。寅年の今年、次世代の虎屋を見守っていき

と思います。

語る萩原輝一さんの言葉には、半世紀以上社長という重役を務めてきた誇りと信念が見えました。



語る

自分と地域のこと～



寅年が

～寅年の2人が語る会社と

(株)LasIQ

代表取締役

藤田元氏

当所常議員

昨年番うれしかったことは何ですか
企業理念「自分らしくの追求」に
共感した新卒薬剤師を4月に2名採
用することができたことです。薬学生
向けの独自のキャリア研修プログラムを
開発し、LasIQで薬剤師として働
くことが自己実現できると、信じても
らえたことが一番嬉しかったです。

今年やってみたいことはありますか
今夏に、薬局薬剤師監修の漢方を

ブレンドしたクラフトコーラを国内初で
発売する予定です。その準備として、
今年2月にCAMPEFFIREでクラウ
ドファンディングを行います。低GIの
糖質や漢方やスパイスを組み合わせ、
健康に配慮しながらお客様の近くで
「自分らしく生きる」ことを最大限に
応援するコーラを創っていきます。

当社の本業である調剤薬局は、具
合が悪い患者様に薬を調剤するが仕
事ですが、コロナ禍の中、多くの人が
自由を制限され自分らしく生きること
が難しい状況にあります。そのような
中で懸命に頑張っている人に、「自分ら
しく生きていい！」と応援する私たちの
思いが詰まったコーラです。ぜひ皆様の
手に届き、喜んでもらえるよう、商品
開発を続けていきます。

座右の銘は何ですか

「愛・誠実・感謝に生きる」です。



世の中は愛情不足で自分の価値を見
いだせない人が数多くいます。私は大
人になり経験や学び、気づきの中で両
親から本当に愛されていたんだと実感
を得ました。その時はじめて「自分ら
しくやっていい！」と自分に自信がわき、
自分を認めることができました。「愛と
はその人の可能性の探求に誠意を傾け
ること」という言葉があります。相手
にもっと良くなっていってほしいと思
い、そのためにどう関わるか常に考えることが
「愛」だと考えています。また私は4
代目の経営者ですが、初代は明治38
年に滋賀県甲賀町から須賀川に移り
住み、代々「誠実」さが一番に薬の
商いを続けてきました。近江商人の教
えである「3方良し」を忘れずに、私も、
先代の思いを受け継ぎ、「誠実」に仕
事をしていきたいと思っています。

最後に「感謝」についてお話しします。
私は須賀川で生まれ、多くの人の支

えの中で成長してきました。お世話に
なったすべての人たち、そして「愛」と
いう概念や、理念に一貫性をもって生
きる価値を教えてくださいました。私
の学びに心から「感謝」しています。私
はこれからも、「愛・誠実・感謝」を
土台に「自分らしく」を追求してい
きます。

どんな須賀川になってほしいですか
私は須賀川が好きです。この町に生
まれて良かった、この町で過ごしてよかつ
たと本当に思っています。皆さんと一
緒に、素敵な、大切な、愛情にあふ
れた町須賀川をお互いに作っていき
たいです。

藤田元さんの言葉からは、様々
な思いや葛藤から生まれた会社や
地域を導く「自分らしさ」が見え
ました。



要望書提出の様子

公共工事の確保等について要望

～須賀川市に要望書を提出～

渡邊達雄会頭らは市内商工会とともに、12月20日に橋本克也須賀川市長、五十嵐伸須賀川市議会議長を訪問し「建設関係要望書」を提出しました。

今回の要望は、市内建設業者の受注する仕事の公共工事について予算の確保や地元企業への優先的な発注等を要望するもので、具体的な内容は次の通りです。

- ①令和4年度の建設業関連予算の確保・充実。
- ②地域経済全体への好循環作用を発生させるための、公共工事や物品購入等の地元企業への優先的発注。
- ③今後の落札競争により低価格化が懸念される工事の安全・適正な施行確保のための、最低制限価格の引き上げ。

経済の現状と先行きをデータから読み解く

財務金融部会経済情勢セミナー



講演する植田氏

財務金融部会（鈴木克幸部会長）の経済情勢セミナーが12月2日にホテル虎屋にて開催されました。

当日は講師に日本銀行福島支店長の植田リサ氏をお招きし「日本経済と福島県経済の現状と先行き」をテーマに、様々なデータをもとに経済の現状と先行き見通しについて解説いただきました。参加した約30名の聴講者は、メモを取るなど今後の業務に活かすべく熱心に聞き入っている様子でした。

先端技術を視察

建設部会 県内視察研修会



ロボットテストフィールドで説明を受ける参加者

建設部会（橋本和直部会長）は、12月6日県内視察研修会を実施し、部会員事業所から13名が参加しました。

南相馬市の福島ロボットテストフィールドでは、福島イノベーションコースト構想での位置付けや施設概要について説明を受けました。その後は、双葉町の東日本大震災・原子力災害伝承館と県内初の震災遺構である浪江町の旧請戸小学校を視察し、震災の経験から得た教訓を再認識しました。

2年振りに対面式で開催

第24回会員交流大会



開催に向けて話し合いが行われた

会員交流大会実行委員会（佐藤俊彦委員長）の第2回運営委員会が12月9日に開かれました。第23回については新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からやむを得ず中止となりましたが、第24回については協議の結果、2月10日（木）に感染症対策を講じたうえで開催することが決まりました。

なお、規模を縮小するなど例年と異なった形での催しとなります。詳しくは同封の折込チラシをご覧ください。

新春議員懇談会の開催内容を協議

総務運営委員会



あいさつする鈴木和幸委員長

当所の常設委員会である総務運営委員会（委員長／鈴木和幸副会頭）が12月22日に開催され、新春議員懇談会について協議しました。

今年度は講演会に加え、2年ぶりに新年会を開催することを決めました。

また、委員会では1年を振り返りながら様々な意見が交わされました。

就職ガイダンス3月に対面式で開催 須賀川地区就職ガイダンス運営委員会



あいさつする石澤委員長

須賀川地区就職ガイダンス運営委員会（石澤雄吉委員長）の第1回運営委員会が12月9日に開かれ、令和3年度は3月18日（金）に就職ガイダンスを開催する方向で準備を進める事が決まりました。

このガイダンスは、地域企業が優秀な人材を確保するために、大学、短大、専門学校等の卒業予定者に向けて事業内容などの情報を提供する場として開催しているものです。詳しくは折込チラシをご覧ください。

自社の事業計画を策定

事業計画策定支援セミナーを開催



事業計画策定セミナーの様子

事業計画策定支援セミナーが12月16日（木）、17日（金）、20日（月）にそれぞれ開催されました。

講師は中小企業診断士の杉山建夫氏。

今回はコロナウィルス感染防止の観点から、講師と受講者を対面は避け、オンライン形式の開催となりました。参加された各事業者の方々は、自社の経営資源を分析するワークや事業を発展させるためのノウハウを学び、事業計画の具体的な策定に取り組んでいました。

酒造りにかける想いに触れる

須賀川ツーリズム実行委員会モニターツアー



モニターツアーの様子

須賀川ツーリズム実行委員会（渡邊達雄委員長）企画のエアポートツーリズムモニターツアー「空の旅気分ほろ酔いのひと時～夕暮れ時間と美酒とのマリアージュ～」が12月4日に福島空港で行われました。

当日は会場開催に18名、オンライン開催に11名が参加。薄暮時の空港で松崎酒造の杜氏 松崎祐行氏の酒造りにまつわるお話を聞きながら、日本酒と地場産品から厳選したおつまみとのマリアージュを楽しみました。

渡邊会頭に表彰状伝達

日本関税協会横浜支部



表彰を受けた渡邊会頭

渡邊達雄会頭は、日本関税協会横浜支部の幹事を長年にわたり務め税関行政の円滑な運営に多大な貢献をしたことから、このたび横浜税関（宇野雅夫税関長）より表彰されました。

表彰伝達は、12月10日須賀川商工会館で行われ、山崎幸彦横浜税関小名浜税関支署長より表彰状が手渡されました。

山崎支署長から、伝達とともに感謝の言葉がありました。

署員表彰と激励慰問を実施

須賀川地区警察官友の会



表彰の後の記念撮影

須賀川地区警察官友の会（渡邊達雄会長）は、12月9日、渡邊会長が須賀川警察署を訪問し、菊地署長立ち合いのもと署員3名の優秀警察官表彰と永年勤続署員表彰を行いました。

また、年末年始特別警戒への激励金贈呈と署員の新型コロナウイルス感染予防に役立てていただくため、空気清浄機3台の寄贈を行いました。

福島空港利用促進キャンペーンを実施

福島空港就航先関係機関訪問活動



大阪訪問の様子

福島空港と地域開発をすすめる会では、12月2日、3日に福島県等と協力し、大阪空港周辺の自治体や商工会議所などの訪問活動を行いました。

これは、福島空港周辺地域と就航先地域の地域間交流の継続と一層の活性化を図るために行った事業で、当日は現在福島空港で行われているキャッシュバック・試乗・楽得キャンペーンのPRのほか、両県の観光や産業などについて意見交換を行うなど、更なる交流を深めることができました。

令和4年(2022年) 三村会頭年頭所感

「地域とともに、未来を創る」



日本商工会議所会頭
三村 明夫

明けましておめでとうございます。

2022年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨秋以降、国内では新型コロナ新規感染者数が著しく減少し、本格的な日常生活回復に向けた動きが加速化する中で新年を迎えられたことを皆さまと共に喜びたいと思います。

海外での感染再拡大などもあり、先行きの見通しは予断を許さないものの、商工会議所は、本年を感染防止と社会経済活動をより高い次元で両立させる年と位置付け、地域経済ならびにそれを支える事業者の皆さまの発展のため、引き続き全力を尽くしてまいります。

さて、コロナ禍で急激に落ち込んだ経済もようやく回復基調に転じましたが、依然力強さを欠き、業種や規模により回復度合いが異なる「K字型回復」の状況が続いています。国民全体を覆う閉塞感を真に打開するためにも、昨年政府が決定した「新たな経済対策」の着実な実行はもとより、国民が日本の将来について明るい希望を抱けるような、新たな成長と発展への道筋を明確に示す必要があります。

第2次岸田内閣の発足以降、政府は「新しい資本主義」を掲げ、「成長と分配の好循環」「コロナ後の新しい社会の開拓」に向けて議論を重ねてきました。私はコロナ禍を通じて、「強く豊かな国でなければ有事の際に国民を守ることができない」と改めて認識しましたが、日本を危機に対するレジリエンスを備えた強い豊かな国にするためには、コロナ禍で明らかになった社会課題の解決と経済成長を車の両輪として同時に実現することが必要です。

少子高齢化に向かう人口動態等、様々な構造的課題を抱えるわが国が、社会課題を解決すると同時に経済成長を図るためには、一国の豊かさを示す総合的な指標である「1人当たりGDP」の引き上げを国全体の目標として掲げ、あらゆる分野での生産性向上と潜在成長率の底上げを図る必要があります。特に、雇用の約7割を占める中小企業の生産性を引き上げることは、ひいてはわが国全体の生産性の向上につながる重要な課題です。他にも、経済・医療安全保障、成長を支える基盤である人材育成や科学技術研究への投資、デジタル化の推進、「S+3E」の原則を踏まえたバランスの取れたエネルギー政策と技術革新等が不可欠です。通商面では、TPPやRCEPの成果を踏まえ、同じ考えを持つ国々との連携を深めつつ、引き続き日本が自由貿易体制推進において主導的な役割を果たすべきです。

こうした課題認識を踏まえ、われわれ商工会議所は本年、特

に以下3点について重点的な取り組みを実行してまいります。

第一は「デジタル活用による中小企業の生産性向上」です。これまでも幾多の困難を乗り越えてきた日本の中小企業は、様々な変化に柔軟かつ迅速に対応できる潜在的な変革力を有しています。中小企業経営へのデジタル活用は、生き残りをかけた自己変革の有力な手段であり、コロナ禍で加速したデジタル化の流れを、業務効率化に留まらず、越境EC等を通じた販路拡大、さらには業態転換などのビジネス変革にまで広げる経営力向上の柱として強力に支援してまいります。

第二は「事業再構築、取引適正化等を通じた付加価値の向上」です。商工会議所による伴走型の経営相談体制の強化により、事業承継や事業の再生・再構築を後押しし、経営の効率化や付加価値創出力の向上を強力に支援してまいります。また、大企業と中小企業で構成されるサプライチェーン全体で、創出した付加価値やコストをフェアに分ち合う取引適正化も不可欠です。登録企業が4千社を超えた「パートナーシップ構築宣言」は、官民連携でこれを実現するための有力なプラットフォームであり、今後は宣言の実効性をより高め、中小企業の付加価値向上、ひいては日本全体の成長力の底上げに寄与してまいります。

第三は「地域ぐるみの地方創生の推進」です。東京一極集中と言われるかもしれませんが、実際には一次産業の成長産業化、インフラ整備を通じた製造業の集積、インバウンド需要の取り込みなどを進めてきた地方圏の方が、東京圏よりも高い経済成長率を実現しております。コロナ禍を契機としたさらなる地方分散化の動きもみられる中、政府の「デジタル田園都市国家構想」も踏まえ、こうしたモメンタムを地方創生の加速化につなげていくことは、レジリエントな日本の国土形成のためにも不可欠です。商工会議所は、地域総合経済団体として地域の多様な主体との連携を深め、地域ぐるみの地方創生をさらに後押ししてまいります。

最後に、日本商工会議所は今年で創立100周年を迎えます。「地域とともに、未来を創る」をスローガンに、次の100年に向けて、中小企業の活力強化と地域活性化による日本経済の持続的な成長の実現を目指し、515商工会議所と連合会、青年部、女性会、海外の商工会議所とのネットワーク力を最大限活用し、新しい時代を皆さまと切り拓いてまいりたいと思います。引き続きのご支援、ご協力をお願いして、私の年頭のあいさつとさせていただきます。

以上